和東の四季

和東町活性化センター

「茶畑を見るなら、どの時期が一番いいですか？」

和束町の観光窓口で、最も多くいただくお問い合わせがこちら。来ていただくからには一番いい時期をご紹介しようとは思うのですが、残念なことに、和束町は一年を通してとても美しい町なのです。
大変な難問ですが、皆さんのご興味を想像しながら和束町の、輝く季節の魅力をご紹介します。何回でも足をお運び下さい。

その前にちょっと
茶源郷をより深く
楽しむための豆知識

お茶の木は常緑樹

お茶の木は「カメリア・シネンシス」というツバキ科の常緑樹です。紅葉や落葉は無く、一年を通して緑色の葉が楽しめます。
ただし、美味しいお茶づくりのために季節によって様々な姿を見せます。

生業による景観の変化

人が生活するために自然のものに手を加えた景色を「生業景観（なりわいけいかん）」と呼んでいますが、和束町では、約８００年前から自然と共生しながらお茶づくりが発展してきたため、見事な「生業景観」＝「茶畑景観」が広がっています。
お茶の葉そのものは緑色なのですが、栽培方法によって、茶畑は皆さんの想像を超えて変化します。その秘密は、旨味のあるお茶を作るために畝を覆う黒や白の覆い（寒冷紗）にあります。覆いは新芽に当たる光を遮り、旨味を育む役割をします。主として「玉露」、「碾茶」（臼で挽く前の抹茶の原料、てんちゃ）、「被せ茶」の茶畑で見られます。近年、この茶種の栽培面積が増えています。

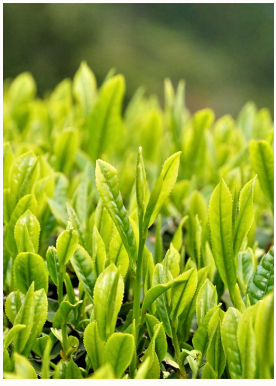
それでは、お茶畑の景色と併せて和束町の四季をご紹介いたします。

４月

新芽と桜の美しい季節

一番茶の美しい新芽が芽吹き始め、茶畑の畝が光り輝く若葉色に変化し始めます。
新芽がある程度出揃うと覆いをかけ始めるので、町の中心部の標高の低い茶畑では４月半ば頃から黒い覆いが目立ち始めます。覆いは１週間から３週間で外し、その後直ぐに新芽は収穫されます。
若葉色一色に染まった広大な茶畑景観をカメラに収めたい方は、この時期までに何回か和束町へ足を運んでトライしてみてください。

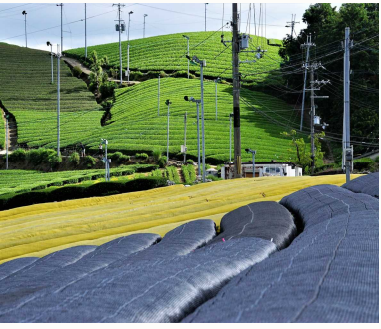
≪桜≫
上旬は少し遅咲きの桜と緑の茶畑が映える美しい時期です。桜の開花は、例年、石寺の桜並木、長井の桜のせせらぎ小径、祝橋の桜並木と続きます。また、枝垂れ桜のある活道ヶ丘公園（和束町運動公園）内や湯船の西芳寺・大智寺などにも是非お立ち寄りください。
下旬には萌ゆる若葉と山桜のピンクが映え、盆地を囲む山々の笑うような光景にも出会えます。



5月

お茶刈り・新茶の季節

一番茶の収穫が最盛期を迎える、新茶の季節です。
和束町では碾茶の生産が増えているため、この時期にはかなりの部分がシートで覆われます。場所によっては黒一色の茶畑が出現します。ただ、覆う理由を知ると、長い年月を経て発展したこの生業景観に親しみを感じ、味わい深く眺めて頂けると思います。覆いの黒と白、収穫後の枝の茶色や葉の緑色、煎茶園の若葉色と、一年で一番変化に富む季節で一見の価値があります。お茶の葉を載せた軽トラックがビュンビュンと通ります。作業の邪魔にならないよう気を付けて下さい。この時期ならではの新茶の香りをお楽しみください。



6月～7月

生業の季節

５月の最盛期から引き続き、和束町では生業の季節が続きます。一番茶の収穫の残り、畝の整枝（刈り直し）、二番茶新芽の成長・覆い・収穫の季節です。５月と同様に変化に富んだ茶業を感じる季節です。例年、7月の終わり頃には覆いは姿を消し始め、和束町の茶畑は緑一色の景観に戻ります。

８月～９月

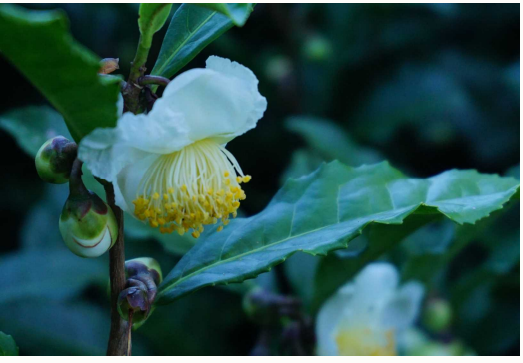
青空と茶畑、稲穂の季節

二番茶も、もうあと少し。茶畑はほぼ緑一色です。
強い陽ざしが作り出す陰影が茶畑の美しさを更に引き立てるので、
青空と茶畑の景色ならこの時期がお薦め。
９月の半ば頃からは平地に広がる稲穂が黄色く染まり（10月からは
秋番茶が始まるので、お米の収穫は早めです）、濃い緑色の山成り
茶園とのコントラストが見事です。

10月～11月

秋番茶とお茶の花の季節

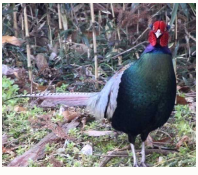
秋番茶の収穫の季節です。１０月の半ば以降、一日の平均気温が２０度を下回る頃になると常緑樹であるお茶の木の成長が止まります。この時期を待って茶畑の整枝作業が始まり、畝はシャープに成型され、芸術作品さながらの様相を呈し、春を迎えるまでこの景観が楽しめます。畝の整枝は春の新芽の収穫時に古い葉を巻き込まないための工夫なのですが、機能美の極みを感じます。低い陽ざしが深い陰影も演出し、この時期もまたお勧めです。
かわいい白いお茶の花も咲き始め、陽光に照らされる茶畑は宝石のようにキラキラと輝きます。

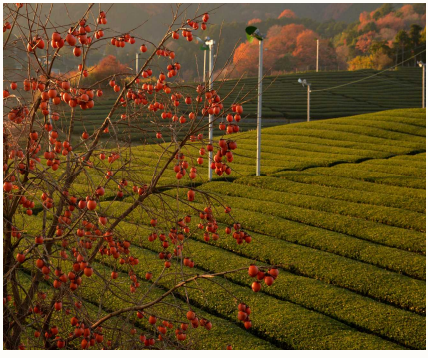


11月~12月

紅葉、柿と茶畑の季節

周囲の山は紅や黄色に色付きはじめ、晩秋の爽やかな空気の中でのウォーキングは快適です。１０月下旬から１１月上旬にかけて麓まで色づきが進み、正法寺や活道ヶ丘公園などの紅葉も見事です。
紅葉のほかに、茶畑の脇に植わる柿の木の実とのコントラストも美しいこの季節。毎年、１１月上旬に町をあげてのイベント「茶源郷まつり」が開催されます。是非お訪ね下さい。
茶畑はその後、緑色のまま冬を越していきます。





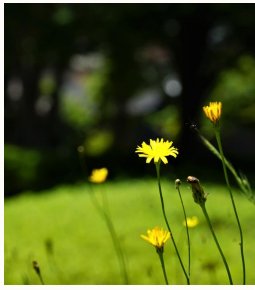
1月～３月

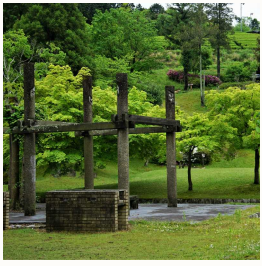
霜・寒さに耐える始まりの季節

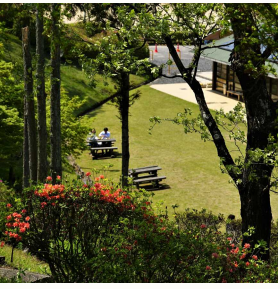
冬は早朝、霜の降りた茶畑が日の光に照らされて輝きます。
和束町では年に２～３回雪を被りますが、シャープに成型された畝を覆う雪景色もまた必見です。
また、秋から冬にかけて、朝方に霧の海もよく見られる季節になります。2月下旬～3月には、名産の花菜（菜の花）や梅の花なども咲き、また春の新茶の季節を迎える準備に入ります。

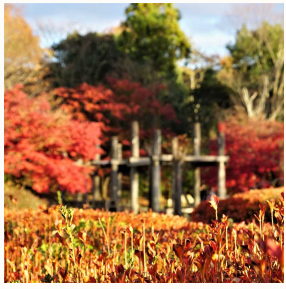
活道ヶ丘公園の四季

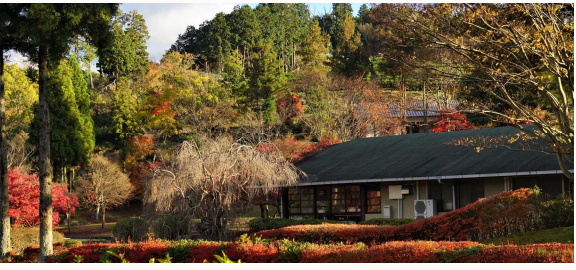
和束盆地の中心部には「安積親王墓」の丘があります。裾野全体に美しい茶畑が広がる町のランドマークでもあります。その近くに「活道ヶ丘公園」（和束町運動公園）があります。芝生広場を囲む美しい公園で和束盆地を展望できる散策コースもあり、四季を通じてお薦めのスポットです。宿泊施設「京都和束荘」もこの公園にあります。是非お立ち寄り下さい。











和束町の花カレンダー

1月	ワビスケ　ツバキ　藪椿　冬イチゴ　葉ボタン
2月	梅（和束天満宮）マンサク　蝋梅　沈丁花
3月	山椿　土佐みずき　日向みずき　レンギョウ　木蓮 コブシ　シキミ（花）　十二単
4月	サクラ（石寺→長井→祝橋）木蓮　水仙　ユキヤナギ ドウダンツツジ　芝桜　オダマキ　トキワマンサク しだれ桜（和束運動公園→湯船西願寺）オオデマリ ウワズミザクラ　ヤマブキ　ヤブカンゾウ
5月	山桜　山ツツジ　藤　シャガ　西洋シャクナゲ 菖蒲　シャクヤク　バラ　ハナミズキ ジャーマンアマリリス　ヤマボウシ　スイカズラ
6月	ホタルブクロ、菖蒲、アジサイ　ウツギ 柏葉アジサイ　ネムノキ
7月	ハス　ヒマワリ　ササユリ　オカトラノオ ミズヒキ　キキョウ　キンケイギク
8月	ノリウツギ　ムクゲ　キョウチクトウ　サルスベリ ジンジャー　ホウズキ　シュウメイギク
9月	彼岸花、コスモス　ホウキ草（コキア）
10月	お茶の花　ホトトギス　オミナエシ　藤バカマ
11月	お茶の花　イチョウ（正法寺の紅葉） 美男カズラ（サネカズラ）の実　皇帝ダリア モミジの紅葉（正法寺、和束運動公園） プラタナスの紅葉（和束運動公園）
12月	ワビスケ　冬イチゴ　葉ボタン　ヤブコウジの花　南天

一般財団法人
和束町活性化センター
お問い合せ　TEL：0774-78-3396
E-mail　：　info@chagenkyo.com
住所　：　京都府相楽郡和束町白栖大狭間35